



イルカの基礎知識 模様

天草に住んでいるイルカは、ミナミハンドウイルカという種類です。水族館でよくみかけるハンドウイルカとよく似ていて、なかなか見分けることは難しいです。

専門的な分類でも、20年ほど前までは、同じハンドウイルカとされていたほどです。DNAの解析技術が向上し、現在では明確に区別されています。実際、「IWC」での出版物では2000年から区別されている」

（参考文献 2019 イルカ概論、東京大学出版会 p84）ということですが、なんとなくグレー一色のイメージが強いイルカですが、よくみると、濃淡がしっかりあります。とくに、腹側はほとんど真っ白か、ピンクっぽい色です。

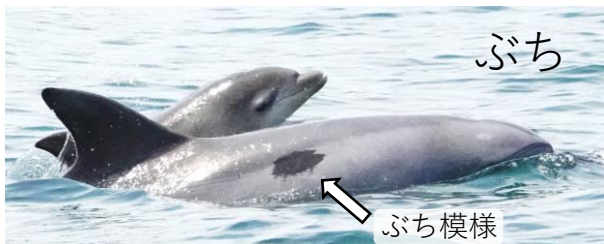
上の2枚の写真を見比べてみてください。実は、ミナミハンドウイルカは、年をとっていくにつれ、お腹に

まだら模様

が出てきます。右のイルカのお腹はツヤピカで若い、左のお腹はまだら模様が出て始めている中年のイルカということになります。

それとは別に、天草には（下の写真）体幹の右側に生まれつきの模様があるイルカがいます。このイルカは「ぶち」と名前をつけています。2023年に赤ちゃんを産みました。

発見しやすい特別な模様の「ぶち」ぜひ海で探してみてください！



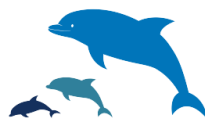
ぶち

ぶち模様

青いイルカ？

イルカくじらの仲間の色は、白や黒・グレーの組み合わせが基本です。そのほかに、とても希少な**ピンク色**の川イルカもいます。ところで、イルカのイラストでは「青いイルカ」をよく見かけますね。でも実は、**地球には青いイルカは存在しない**のです。（青く見えることはある）

全身が真っ白で人気のシロイルカ（ベルーガ）



Amakusa SDGs

記事や活動についてのお問い合わせ

天草イルカ調査室

amakusa_dolphin

検索

天草イルカ調査室

天草漁協 通詞島沖イルカ環境実態調査事業

facebook



やってるよ！

